

事務事業名	みまもりネットワーク構築事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	T453																	
			所属課室	介護福祉課	課長名	清水文秀																	
			所属担当	高齢者福祉担当	担当者名	小林千江																	
基本政策	基本計画体系	17	快適で心のかよいう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目												
		27	社会福祉の充実	04	介護	0	4	0	2	0	1	0	0	4	0	2							
政策			地域福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	介護保険法																		
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 一人暮らし高齢者、高齢者世帯、要介護状態(認知症や被虐待等)の高齢者が安心・安全に暮らせる 為に、地域の人たちや民生委員等が高齢者の特徴や介護方法また認知症等を理解し、見守りや助け 合いを行える。また地域包括支援センターへ繋げることが出来るように支援をする。 認知症サポーター研修会の開催 民生委員との連携や研修 愛育会等との連携や研修 広報 活動			事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>48,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>48,000</td> </tr> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	消耗品	48,000					計	48,000
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																			
	消耗品	48,000																					
		計	48,000																				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	23年度活動予定	対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
活動	認知症サポーター講座の開催を市民の小グループや愛育会、民生員、市役所職員、病院関係者等に行った。	キャパシティの連絡会の開催及び認知症サポーター講座を警察署、金融機関、学校などで開催予定	市民やそれぞれの機関や事業所の職員	高齢者の特徴や介護方法また認知症等を理解し、見守りや助け合いが行える。また必要に応じて地域包括支援センターへ繋げることが出来るようになる。	高齢者が安心・安全に暮らすことが出来るように、地域ぐるみで支援できる。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 講座や研修会	回数
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 受講者数	人数
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 講座や研修会受講者数	人数
イ: 相談件数	件数
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 高齢者支援に対する満足度	%
イ: 地域に支えられていると思う人の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		48	47	127	127	127		
		事業費計(A)	千円	0	48	47	127	127	127		0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	1	1		
		延べ業務時間	時間								
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0		0
		(A)+(B)	千円	0	48	47	127	127	127		0
	活動指標	回数		20.0	26.0						
	対象指標	人数		454.0	591.0						
	成果指標	人数		454.0	591.0						
		件数		67.0	223.0						
	上位成果指標	%			23.2						
		%		74.4	62.8						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	認知症高齢者の増加に伴い、介護負担も大きくなってきているなか在宅での介護の大変な状況である。地域での見守りや助け合い、認知症への正しい理解が必要であり19年度より開始された。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	年々認知症の人は増えている。また徘徊などの症状が出ている人の増加傾向で、介護負担が大きい現状がある。今後も増加傾向である。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域の人々が利用している金融関係、市役所の窓口などの業務をしている人たちからは、認知症に関して理解できた、もしおかしかったらどこに情報提供すればいいか聞いたなどの声が聞かれた。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている [内容] <input type="checkbox"/> 取り組みしていない [理由]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	認知症サポーター研修会の出前講座をおこなうことのPRを機会を捉えて行っている。
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	みまもりネットワーク構築事業	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 在宅生活を継続していくための仕組みづくりや認知症高齢者、家族への支援等に結びついている。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 今後は認知症サポーター養成講座の開催等については、キャラバンメイトさんたちの組織化を支援することで、序々に移行していくことが可能である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 まだまだ、講座を開催し、市民や関係機関に認知症への理解を広めていくことが必要であるため、継続・維持は妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 対象が広い為、計画的に進めて、年度を単位に行うことで周知できていく。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 認知症の高齢者を家族だけでは支えきれない。又高齢者のみも家族も増えてきている。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】 まだまだ、認知症への正しい理解や対応が出来ていない現状がある。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 キャラバンメイトさんたちへの講義謝礼のみであるため、削減できない。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 キャラバンメイトさんたちの組織化をすることで、関わる時間を少なく出来そうである。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 出前講座をすることにより、広く活用でき、また広報活動も行っているため、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性、の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						